

帝京大学経済学部 地域経済学科

農業は、地域にとって大切な産業であり雇用の場

帝京大学経済学部地域経済学科は、農業を地域の行政や財政、地理や社会、産業や経済、観光や環境、社会や教育などと切り離すことなく学ぶことで、農業経営やその支援を含む地域全体の活性化に貢献する人材を育成します。

卒業生の多くが、農業経営や公務員、J A、金融機関などで活躍しています。

教育の特徴

充実した
教授陣

少人数教育

実践的
フィールド
ワーク

経済・行政・
産業・社会
総合的な学び

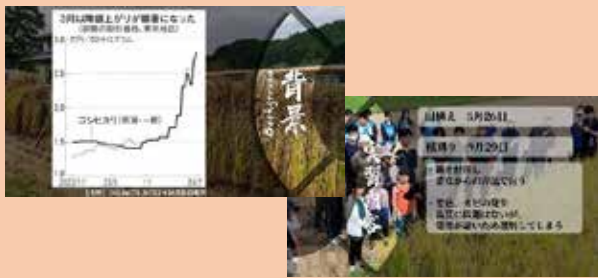
1年～4年
一貫した
演習

充実した
就職支援

2025年度のゼミ（演習）活動紹介

林田朋幸（農村社会学）ゼミ

テーマ：田植えと稲刈りを体験して
那珂川町で実際に米作りに取り組んで、米と農家の現状について学ぶ



坪井壱太郎（応用地理学）ゼミ

テーマ：GISによる農業構造分析
各種統計情報から、GISを用いて地図化する技術を学び地域に発信する



宋宇（財政学・地方財政学）ゼミ

テーマ：あらゆる社会・地域の問題を財政の観点から読み解く
理論学習（インプット）と実践活動（アウトプット）の両輪で専門性と実践力を養う



乗川聡（ライフデザイン演習）ゼミ

テーマ：放置竹林問題の解決
放置竹林問題の解決のために大学と地域が連携した取組を行う



帝京大学理工学部総合理工学科 環境バイオテクノロジーコース

生命・環境に関する知識と技術を幅広く修得

環境や生命に関わる多様な社会課題に向き合い、自ら考え行動しながら解決を目指すために、食料・医薬品開発を支える生命科学・バイオテクノロジー分野をはじめとした幅広い知識と技術を学びます。総合理工学科ならではの分野横断型教育を通じて、AIやデータサイエンス、工学的視点を融合した「総合力のあるバイオ人材」を育成します。



キーワード; 生命科学、医薬品開発、動物生理学、バイオテクノロジー、
バイオイメージング、SDGs、ゲノム編集

地域高校や関係機関との交流を積極的に行っています

宇都宮キャンパスでは、県内・近隣の高校との研究・学修交流を積極的に進めています。また、高大連携研究も積極的に行っており、これまでも、栃木県立栃木農業高校、鹿沼南高校、那須拓陽高校、宇都宮白楊高校を始め、多くの実績があります。

